
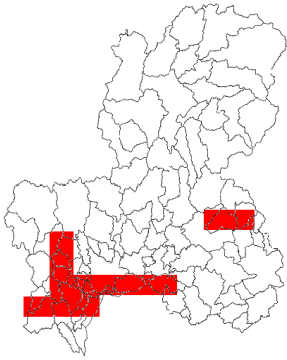


ホソバノウナギツカミ		<i>Persicaria praetermissa</i> (Hook.f.) H.Hara	準絶滅危惧
			タデ科
選定理由	河川の改修、ため池の改修や埋め立てなどにより生育環境が悪化しつつある。		<p>写真(奥田和利)</p> 
形態の特徴	一年草。茎は逆刺があり、下部は地をはい立ち上がる。葉はふつう線状披針形、耳部は下に曲がる。		
生態的特徴	ため池・水田などの水辺に生える。		
分布状況	本州(関東地方以西)・四国・九州・琉球に分布する。岐阜県では、美濃地方に分布する。		
減少要因	河川の改修、ため池の改修や埋め立てなどによる生育環境が悪化。		
保全対策	河川・ため池などの改修の方法(コンクリート化を避ける等)の改善及び埋め立て防止。		
特記事項			
参考文献			

文責:須賀瑛文